

報道関係各位

2016年9月9日

**【新商品】 電制と室工大の産学で、体内時計調節器「ルーチェグラス」を開発
睡眠変調による悩みを国内初のウェアラブル型装置で改善へ！**

株式会社電制(北海道江別市工栄町、田上寛社長)は、室蘭工業大学との共同で、メガネの様に手軽に顔に装着できるウェアラブル型の体内時計(生活リズム)調節器を国内で初めて開発し、病院および医療関係者を対象として10月3日に販売を開始します。



ルーチェグラス使用イメージ

【特徴】

ルーチェグラスは、生活リズムを作る体内時計の調節に重要な太陽光の代わりに、模擬自然光を効率よく網膜に照射する装置であり、国内で初めて顔装着型としたことで、利用したまま室内を移動したり、本を読んだりすることを可能としたスタイリッシュな体内時計調節器です。

【従来品の問題点】

据え置きタイプの装置は病院でも利用されていますが、利用中は光照射方向を向いたまま長時間動けないという不自由さがありました。

【その他のメリット】

電源供給はUSB端子から行うため、USB端子付きのモバイルバッテリーやパソコンなどに繋ぐだけで電源供給が可能です。また、本装置の一日あたりの使用時間は30分間です。

【開発のきっかけ】

室蘭工業大学が高照度光照射装置の研究を行っていた同時期に、電制が福祉・健康分野の研究を進めていたことがきっかけで、医学的安全と効果についての研究と臨床試験を大学が担い、商品化を電制が行うこととして開発が始まりました。

【補足事項】

本装置の様な高照度光照射は体内時計の調節の他、うつ病にも効果があると云われています。尚、ルーチェグラスは室蘭工業大学での臨床試験、更には眼科専門病院の協力のもと臨床試験を行い、効果の確認と安全検証を実施しております。